

# 自分に合った資産形成を考えよう

八十二銀行オリジナルキャラクター  
「はちの8ちゃん」



一言で資産形成と言っても手段はさまざまです。まずは貯蓄のコツを覚えましょう。次に、商品の特性を知り、自分の目的や目標に合わせて商品を使い分けましょう。

## Step1

### 貯蓄のコツを覚える



収入－生活費＝残ったお金を貯蓄(資産形成)

頭を切り替える

収入－貯蓄額＝残ったお金で生活



最初に貯蓄し、  
残りのお金で  
生活するのが  
「計画的に貯蓄するコツ」です。

## Step2

### 商品の特性を知る

資産形成では、お金の色分けをすることが大切です。基本的な生活資金は、いつでも自由に引出せる預貯金等による運用が適しています。一方、使い道が決まっていない資金や将来に備えるための資金は、目的に合わせて商品を選ぶことがポイントです。まずは、各商品の特性を見てみましょう。

	特徴	メリット	デメリット	元本割れ
将来の資産形成	<b>注目①!</b> 投信積立	毎月一定額ずつ 投資信託を 自動的に買付け  バリエーション豊富	大きな資産成長が 期待できる  NISAを使えば 運用益は非課税	元本割れの 可能性がある  可能性 あり
	個人年金保険	将来受取る 年金額を 決めることができる	保険料が個人年金 保険料控除の対象	中途解約すると 元本割れの 可能性がある  可能性 あり
	<b>注目②!</b> 個人型確定拠出年金 (愛称「iDeCo」)	自分で好きな 商品を組み合わせる ことができる	拠出・運用・受給の 3つのタイミングで 税制面での優遇	原則60歳までは 払出しできない  可能性 あり
	財形預金	目的に合わせて 積立(一般・住宅・年金)  給与天引きで 自動的に積立て	いつでも 引出し可能*	現状の金利では ふえる期待が 持てない  預金保険の 対象
基本的な 生活資金	預貯金等	最も身近な 金融商品	いつでも 引出し可能*	現状の金利では ふえる期待が 持てない  預金保険の 対象

\*お引出しに制限がある場合があります

## Step3

### 目的に合わせて商品を選択する

さまざまな商品がありますが、将来に備えるならばやはり「コツコツ貯める」ことが大切です。今回は、この中から2つの商品を考えましょう。

注目

1

将来のさまざまな目的への備えは

「八十二の〈投信積立サービス〉」で!

注目

2

セカンドライフの備えは

「iDeCo」で!

# 1 将来のさまざまな目的への備えは「八十二の〈投信積立サービス〉で!

注目



「八十二の〈投信積立サービス〉」は毎月一定額ずつ投資信託を購入し積立てするサービスです。契約の変更・解約がご自身のタイミングでできるため、目的に合わせて運用することができます。

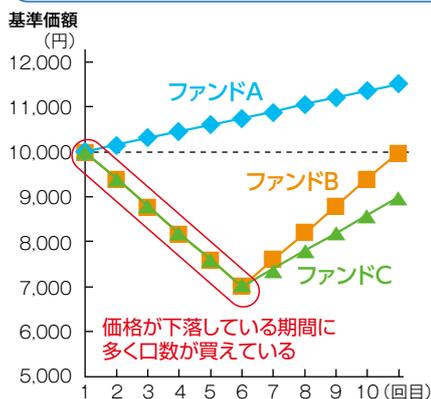
## 八十二の〈投信積立サービス〉のポイント

### その1 無理なくコツコツ

- 毎月一定額を買付けていくことで、高い時に買いすぎたり、低い時に買い損なったりすることを防ぐことができます。結果として一回にまとめて買付けするよりも、平均購入単価を長期的に安定させることが期待できます。
- 一度お申込み頂くと、毎月自動的に買付けします。

### その2 時間を味方につける

毎回12万円ずつ10回積立てた場合、どのパターンが一番増えるでしょう?(合計120万円)



Aファンドは毎年1.5%ずつ上昇し、基準価額が11,500円だった場合 **+94,852円**  
 Bファンドは30%下落しその後30%上昇し、基準価額が10,000円だった場合 **+227,947円**  
 Cファンドは30%下落しその後20%上昇し、基準価額が9,000円だった場合 **+115,415円**

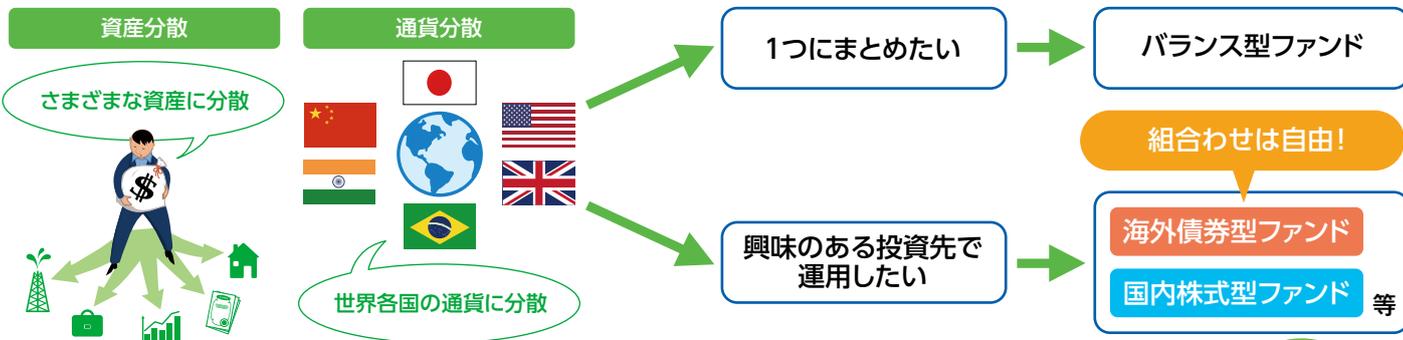
投資信託は値動きがある商品のため、必ずしも安い時に買って高い時に売れるとは限りません。価格が下落しているときも買い続けることで、その後、価格が上昇した時は、元の価格に戻らなくても利益が出始めます。

※左記はイメージとして作成した図であり、将来の成果を約束するものではありません。また、ご購入時などの手数料、税金などは考慮していません。

### その3 さまざまな投資対象を組み合わせる

- 値動きの異なるさまざまな投資対象やファンドを組み合わせることでリスクの低減と収益の安定化が期待できます。

組み合わせは自由! お考えに合った投資対象を選ぶのがポイント



## もっと便利に! 八十二の〈投信積立サービス〉

インターネットバンキングをご利用いただくと、ご来店頂かなくてもパソコン・スマホで〈投信積立サービス〉の新規申込みや契約内容照会、変更、解約ができます。お仕事等で忙しい方でもご自身の好きなタイミングでお手続きいただけます。



インターネットバンキングのお申込みはこちら!



※事前に投資信託口座の開設およびインターネットバンキングの利用申込みが必要となります。詳細は専用パンフレットをご確認ください。  
 ※投資信託に関するご留意事項については裏面をご覧ください。

# 2

## セカンドライフの備えは 個人型確定拠出年金 イ デ コ 「iDeCo」で!



iDeCoは、基礎年金、厚生年金保険などの公的年金に上乗せしてご自身で準備する私的年金のひとつです。さまざまな税制優遇措置が受けられるため、老後に必要な資金を貯めやすく、資産形成の手段として役立ちます。

### iDeCoの税制優遇措置

#### iDeCoの流れ

#### 拠出

毎月お金を積立てる

#### 運用

運用商品を選び資産をふやす

#### 受給

運用したお金を受取る

#### メリット

### その1 掛金は全額所得控除

例えば…毎月2万円を積立てた場合

課税所得300万円ならば  
4.8万円

課税所得500万円ならば  
7.2万円

年間の税額が少なくなります。

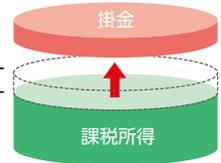
所得控除のイメージ

本来の課税所得に対して

毎月拠出する掛金が全額所得控除の対象となるため課税所得が減り税額が少なくなります



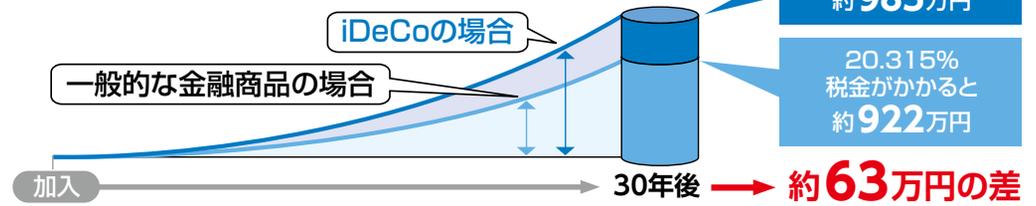
所得控除



### その2 運用益は非課税

iDeCoでは、運用益が非課税になります。通常、税金として差し引かれる金額を運用に充てられるため、高い複利効果が期待できます。

毎月2万円を年率2%で30年間運用した場合



※あくまでも仮定に基づく試算です。また手数料は考慮していません。

### その3 受取時も税制優遇

年金資金を受取る場合は、給付金や受取方法により異なる税制メリットが受けられます。

	受取方式	課税方法
老齢給付金	年金	公的年金等控除が適用
	一時金	退職所得控除が適用

以下に該当する場合、60歳になる前に受取れます。

- 高度障害になった場合 障害給付金
- 死亡した場合 死亡一時金

メリットは、平成28年12月1日現在の税制に基づいて計算しています。

#### 注意点

- 運用商品は加入者が選ぶ
- 原則60歳までは払出しできない
- 管理手数料等がかかる

### 八十二銀行ではじめる「iDeCo」

平成29年1月よりiDeCoのお申込みを八十二銀行店頭で受付開始いたします。セカンドライフに向けた資産形成のひとつとして、是非お気軽にご相談ください。



詳細は専用パンフレットをご確認ください

※iDeCoに関するご留意事項は裏面をご確認ください。

